

中世の「知」に対する情熱と現代の星空の輝きが、
海拔250mの展望台で交差する——。
空に近い展望台で、世界の「真理」に触れる没入型イベントを開催！

『チ。—地球の運動について—』×東京シティビュー

～世界の見方が変わる体験を、展望台で～

期間：2026年4月10日（金）～6月8日（月）

会場：六本木ヒルズ・東京シティビュー



※イメージ



©魚豊／小学館

「当たり前の風景」が「知の探求の場」「特別な景色」へと変わる

森ビル株式会社（東京都港区、代表取締役社長 辻慎吾）が運営する六本木ヒルズ展望台 東京シティビュー（六本木ヒルズ森タワー52階）は、2026年4月10日（金）から6月8日（月）まで、累計発行部数550万部（電子版含む）を突破した人気マンガ『チ。—地球の運動について—』（著者 魚豊／小学館ビッグスピリッツコミックス刊）とのタイアップイベントを開催します。

本イベントは、地動説を命がけで証明しようとした中世の無名の人々が紡ぐ物語『チ。—地球の運動について—』の世界観を、海拔250mという空に近い展望台「東京シティビュー」に重ね合わせることで、日常の風景を「知の探求の場」へと変貌させます。そして、中世の天文学者たちが抱いた「宇宙の美しさ」への感動に触れたとき、窓の外に広がる星空や街の灯りは、いくつもの偶然と情熱が重なって初めて存在し得る「特別な景色」へと姿を変えるはずです。

「天文」「宇宙」「星」、そして時代を越えて連綿と受け継がれる「知」。作品を象徴するこれらのキーワードを軸に、展望台ならではの空とつながる大空間で、作品の象徴的なシーンや印象的なセリフなど『チ。』の世界観をダイナミックに展開します。また、中世の天文学者の世界を垣間見ることができる空間展示もお見逃しなく。

「世界の見方が変わる」——。そんな驚きに満ちた体験を、東京の絶景と共にお届けします。

「MEGASTAR」による「星空シアター」×東京の夜景



<「MEGASTAR」による「星空シアター」展示イメージ>
※画像は展示イメージです。実際の展示とは異なる場合がございます。

写真提供：大平技研

本イベントでは、プラネタリウム・クリエーター大平貴之氏率いる大平ラボの協力のもと、展望台内に「星空シアター」が登場します。次世代プラネタリウム「MEGASTAR」が投影する、肉眼では捉えきれない数百万の星々と、東京シティビューから見える東京の夜景を同時に楽しめます。『チ。』の作中の主人公たちが、電気のない暗闇の中で見上げ、魅了された「中世の星空」と、科学の発展の先にある「現代の輝き」が交錯する、時空を超えた没入空間を創出します。

大平貴之氏プロフィール：プラネタリウム・クリエーター。1970年川崎生まれ。大学在学中に個人製作は不可能とされたレンズ投影式プラネタリウムの開発に成功、ソニー株式会社に就職後も製作を続け、1998年に150万個の星を映し出す「MEGASTAR」を発表。2004年に日本科学未来館に設置した「MEGASTAR-II cosmos」がギネス世界記録に認定。国内外へのMEGASTAR設置、イベントプロデュースや音楽、アートとのコラボなどを積極的に行う。セガトイズと世界初の家庭用光学式プラネタリウム「HOMESTAR」シリーズを共同開発。文部科学大臣表彰科学技術賞、IPSテクノロジー&イノベーションアワード2018等、受賞多数。信条は「人間は可能は証明できるが不可能は証明できない」。大阪芸術大学客員教授。



写真提供：大平技研

本イベントにちなんだグッズ販売や特別イベントも開催予定！

『チ。』×東京シティビューの限定オリジナルグッズに加え、本イベントのテーマに合わせ「天文」「宇宙」「星空」「科学」をキーワードに厳選したアイテムを取り揃えます。イベントを通じて「世界の見方が変わった」その感動を、ぜひお持ち帰りください。また、イベント開催期間中には、トークショーやワーカーショップなどの特別イベントも開催予定です。

※詳細情報は、順次公開予定です。

『チ。 一地球の運動について』とは

魚豊（うおと）氏による本作は、2020年から2022年まで「週刊ビッグコミックスピリッツ」（小学館刊）にて連載された、15世紀のヨーロッパを舞台にしたマンガ作品です。「天動説」こそが絶対の真理とされる時代に、異端視された「地動説」の可能性に魅せられ、その証明に命を懸けた人間たちのドラマを描きます。自らの命よりも「知」や「真理」を優先し、拷問や死の恐怖に屈せずバトンをつないでいく姿は多くの読者の心を揺さぶりました。累計発行部数は550万部（電子版含む）を突破し、2022年には「第26回手塚治虫文化賞 マンガ大賞」を史上最年少で受賞するほか、2024年のテレビアニメ化を経て、今なお熱狂的な支持を集めています。



©魚豊／小学館

魚豊氏プロフィール：1997年生まれ。東京都出身。13歳から投稿を始め、2018年11月に『ひゃくえむ。』で連載デビュー。20年9月に『チ。 一地球の運動について』の連載を開始。同作は「マンガ大賞2021」第2位や「このマンガがすごい！2022 オトコ編」第2位ほか、多数の漫画賞で上位に選ばれ22年4月には「手塚治虫文化賞 マンガ大賞」を史上最年少で受賞。さらに『ようこそ！FACT（東京S区第二支部）へ』も続けて連載し、24年2月に完結。



東京シティビューについて

六本木ヒルズ森タワー52階に位置する東京シティビューは、海拔250メートルに位置する都市型展望台です。眼下に広がる広大な東京の都市風景を、全面ガラス張りの開放的な空間からお楽しみいただけます。高さ11メートルにもおよぶ吹き抜けの開放的な展望ギャラリーが広がり、東京タワーや東京スカイツリー、富士山などが一望でき、ダイナミックなパノラマを楽しめる都内有数の眺望スポットです。東京の景色から夜景、星空まで、刻々と変化する風景を楽しめるほか、幅広いジャンルの展覧会やイベントを開催し、文化発信が融合した唯一無二の空間として、国内外から多くの来場者が訪れています。



【開催概要】

- ◆イベント名：『チ。 ー地球の運動についてー』×東京シティビュー
～世界の見方が変わる体験を、展望台で～
- ◆英語表記 | Orb : On the Movements of the Earth × TOKYO CITY VIEW
- ◆期間 | 2026年4月10日(金)～6月8日(月)
- ◆会場 | 東京シティビュー (東京都港区六本木 6-10-1 六本木ヒルズ森タワー52階)
- ◆開館時間 | 10:00～22:00 (最終入館 21:30)
- ◆入館料 | 未定
- ◆主催 | 東京シティビュー
- ◆特別協力 | 大平ラボ／天文学普及プロジェクト『天プラ』
- ◆後援 | J-WAVE
- ◆公式サイト | <https://tcv.roppongihills.com/jp/exhibitions/chi-event/>
- ◆公式SNS(X) | @tokyo_cityview (https://x.com/tokyo_cityview)
- ◆問い合わせ | 東京シティビュー 03-6406-6652 (受付時間 10:00～20:00)

※本リリースに記載されている内容は予告なく変更になる場合がございます。

【本展に関する記事・報道のお問い合わせ】
『チ。 ー地球の運動についてー』×東京シティビュー広報事務局
(共同ピーアール内)
担当：桑原、安田
TEL：080-2573-6943 (桑原)、090-7909-5164 (安田)
Email：chi.tcv-pr@kyodo-pr.co.jp